

(日刊建設通信新聞社 掲載許諾済み)



業務改善を水平展開

佐藤渡辺

佐藤渡辺は、東京都港区の本社で第35回業務改善発表会を開いた。10テーマが発表され、ウェブで配信した。

石井直孝社長は講評で「改善した内容は、他の部署でも非常に役に立つ。全社に水平展開し、業務改善につなげてほしい」と呼び掛ける。同時に、12月に創業100周年を迎えることに触れ、「今後、環境の変化に柔軟に対応して

いくことが必要であり、そういった意味で本日の発表は、よい発表だった。業務改善発表会は35年間続いており、これからも続けていきたい」と述べた。

審査の結果、社長賞には西日本支店の「リ・タンスイシステム」の技術営業DX（デジタルトランスフォーメーション）、優良賞には営業本部の「営業部のDXモデル」、関東支店の「Pythonによる業務の自動化」と「首都高速道路工場の成功」が選ばれた。

